

令和7年度

事業報告書

令和7年度事業報告書

(概況)

令和7年度は、当協会が公益法人としての社会的責務のもと、県民への受診機会の安定的な確保を図るとともに、持続可能な事業基盤の強化に努めた一年であった。具体的には、健診体制の効率化や情報基盤の整備を進めるとともに、受診者の利便性向上に資する取組を推進した。特に、デジタル技術の活用による予約案内や受診勧奨等の情報発信環境の改善や、健(検)診事業の運営体制の強化を通じて、サービスの向上と業務効率化の両面で着実な進展があった。

また、県や医師会、関係団体との連携を維持・強化しながら、受診機会の拡充および普及啓発活動を継続し、地域における健康づくり支援に取り組んだ。併せて、将来的な需要変動を見据えた渉外活動や受託拡大の取組を推し進め、安定的な事業運営に向けた基盤整備を図った。

事業の実施にあたっては、関係法令および内部規程に基づき、適正な業務執行に努めたところであり、全体として事業は概ね計画どおりに実施することができた。今後も、社会環境の変化を的確に捉えつつ、関係機関および地域との連携を一層深め、県民から信頼され選ばれる健(検)診機関となるよう、体制の充実・強化に努める。

1. 各種事業の実施状況

(1) 健(検)診・検査事業

健(検)診・検査事業は、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、健診システムの自動化による効率化・精度向上に取り組んだ結果、新たな自治体との契約締結や新規受託の獲得につながり、健(検)診の提供体制の拡充が図られた。職域健診の受診拡大を目的とした健康管理ツール「SASAWELL」の提供および柔軟な料金体系の整備を進め、継続的な市場調査と渉外活動を実施した結果、新規契約として、地方公共団体3団体(二本松市、伊達市、喜多方市)、事業所8件の成果を上げた。

また、受診者の利便性向上を目的に、LINE連携により直接Web予約が可能となる仕組みを構築し、ログイン手続きを簡素化するなどWeb予約システム的环境整備を行い、受診者数の拡大に取り組んだ。その結果、Web予約導入市町村は、前年度の17市町村から19市町村へと増加した。利便性向上の理解が広がった。そのWeb予約件数は、前年度の13,221件から20,442件へと7,221件(前年度比35.3%)の大幅な増加となった。

さらに、利便性向上による受診者数の増加を目的とした健康診査と乳がん検診の同時実施を本年も企画し、渉外活動を行った結果、新たに県北・県南の2町村で実施することができた。実施日数は前年度の35日間から42日間へと拡大した。乳がん検診同時実施日の予約希望は増加傾向にあり、同時実施日が先行して予約満了となるなど、需要の高さが改めて確認された。

検診結果のデジタル配信の推進については、関連ベンダとの情報共有を重ね、システム連携における課題および技術的・運用上の問題点の洗い出しを行った。健(検)診結果という機微な個人情報を取り扱うことから、セキュリティ水準の確認および各システム連携に係る要件整理を優先して進めたため本年度内のリリースには至らなかったが、当協会の健(検)診受診者全員を対象とした結果のデジタル配信について、令和8年11月頃の配信開始の目途が立った。

また、地域および職域におけるがん検診体制の維持を目的として、老朽化した検診車両(胃がん・子宮がん)の更新を計画し、機能向上と検査精度の確保に向けた整備を進めた。子宮がん検診車については、蓄電池搭載仕様への対応に伴う部材調達の影響により、当初令和8年3月としていた納期を同年6月へ変更した。また、胃がん検診車については、車両に関する新たな法規制への対応に伴い部品供給に遅延が生じたことから、納車時期を令和9年3月とする計画見直しを行った。これらについては、関係機関との調整を行いながら適切に対応を進めた。

健(検)診件数は、人口及び国保加入者数の減少に伴い、市町村国保や被扶養者健診は減

少した。一方で、団塊の世代が後期高齢者へ移行していることから後期高齢者健診は前年比2,043人(106.2%)の増加となった。がん検診では大腸がん検診が前年比で同等となったが、肺がん、胃がん、乳がん、子宮がんの各検診では減少が見られ、全体としては前年533,527人に対し、516,706人(96.8%)となった。

以上のとおり、本年度は、健(検)診・検査事業において、ICTと対面対応の両輪による受診者本位のサービス提供を実現し、受診機会の確保と健診の質的向上を進めることができた一年となった。

表 地域健(検)診における各種健(検)診件数

年度		令和7	令和6	令和5	令和4
同期比率		6年度比			
		5年度比	5年度比		
		4年度比	4年度比	4年度比	
健康診査	市町村国保	50,787人	53,746人	56,259人	57,565人
		94.4%			
		90.2%	95.5%		
	被扶養者	6,166人	6,613人	7,092人	7,145人
		93.2%			
		86.9%	93.2%		
	後期高齢	34,825人	32,782人	31,107人	27,856人
		106.2%			
		111.9%	105.3%		
	その他の健康診査	474人	477人	473人	509人
		99.3%			
		100.2%	100.8%		
	計	92,252人	93,618人	94,931人	93,075人
		98.5%			
		97.1%	98.6%		
		99.1%	100.5%	102.0%	
結核・肺がん検診	胸部エックス線検査	93,169人	95,736人	95,297人	94,849人
		97.3%			
		97.7%	100.4%		
	喀痰細胞診検査	3,911人	4,267人	4,706人	5,138人
		91.6%			
		83.1%	90.6%		
胃がん検診	26,140人	27,039人	26,915人	27,963人	
	96.6%				
	97.1%	100.5%			
	93.4%	96.7%	96.3%		
大腸がん検診	73,791人	74,220人	73,890人	72,974人	
	99.4%				
	99.8%	100.5%			
	101.1%	101.7%	101.3%		

年度		令和7	令和6	令和5	令和4
同期比率		6年度比			
		5年度比	5年度比		
		4年度比	4年度比	4年度比	
乳がん検診		18,076人	18,937人	18,665人	18,531人
		95.4%			
		96.8%	101.5%		
		97.5%	102.2%	100.7%	
子宮がん検診	車輻検診	14,805人	15,374人	15,934人	15,944人
		96.2%			
		92.9%	96.5%		
		92.8%	96.4%	99.9%	
	施設検診	42,968人	45,195人	43,741人	44,805人
		95.0%			
		98.2%	103.3%		
		95.9%	100.9%	97.6%	
	計	57,773人	60,569人	59,675人	60,749人
		95.3%			
		96.8%	105.0%		
		95.1%	101.7%	98.2%	
推定食塩摂取量測定		40,179人	45,252人	41,144人	43,970人
		88.7%			
		97.6%	110.0%		
		91.3%	102.9%	93.6%	
尿中微量アルブミン検査		16,934人	17,925人	18,647人	19,484人
		94.4%			
		90.8%	96.1%		
		86.9%	91.9%	95.7%	
眼底検査	片眼撮影	3,434人	3,207人	3,283人	2,783人
		107.0%			
		104.5%	97.7%		
	両眼撮影	75,354人	76,476人	76,564人	75,794人
		98.5%			
		98.4%	99.9%		
	計	78,788人	79,683人	79,847人	78,577人
		98.8%			
		98.6%	99.8%		
		100.2%	101.4%	101.6%	
先天性代謝異常等スクリーニング検査		8,470人	8,754人	9,670人	10,336人
		96.7%			
		87.5%	90.5%		
		81.9%	84.7%	93.6%	
先天性代謝異常等拡大スクリーニング検査		7,223人	7,527人	4,457人	—
		95.9%		—	—
		162.0%	168.9%	—	—
		—	—	—	—

(2) 総合健診センター事業

総合健診センター事業は、多様化する受診者ニーズに応えるべく、健診メニューの拡充とデジタル施策の活用を軸に、利便性と対応力の向上を図った。

健康診断事業では、福島市市民健診において、Web 予約の利用促進を目的に、電話予約よりも早期に受付を開始した。併せて、受診券の発送時に約 1200 人に Web 予約開始を知らせる LINE プッシュ通知を行い、市政だよりの広告にも予約用二次元コードを掲載した。その結果、Web 予約が広く浸透し、受診者 2,886 人のうち 930 人(32%)が Web 予約を行い、その割合は過去最高となった。一方で、追加日程を実施しなかったことから前年度に比べて受診者数は微減となった。

人間ドックでは、新たに独自性の高いオプション検査の提供を開始した。検査ブースへの案内掲示の工夫や対面受付による個別の受診勧奨を実施した結果、腫瘍マーカー3点セットは 553 人(受診率 20%)に選択され、オプション検査の中で最も高い選択率となった。一方で、同じオプション検査の睡眠検査については、需要の見通しが不十分であったことから受託件数は 1 件にとどまった。

二次精密検査については、乳腺外来が予定どおり実施されたことにより受診者数は増加した。引き続き受診環境や案内体制の改善に取り組んでいく。

インフルエンザワクチン接種については、巡回接種での受託拡大に努めた。価格や実施時期など顧客ニーズに柔軟に対応するとともに、巡回健診との同時接種も可能とした。その結果、いわき地区の事業所(100 人分)を新規に受託し、今年度の目標を達成した。総合健診センター全体の実績は 12,559 人(前年比 98.9%)となった。

以上のとおり、総合健診センター事業は、受診者サービスの質的向上と柔軟な運営体制の強化を図った一年となった。

表 総合健診センターにおける各種事業件数

年度	令和7	令和6	令和5	令和4
同期比率	6年度比			
	5年度比	5年度比		
	4年度比	4年度比	4年度比	
健康診断	6,354人	6,396人	5,915人	5,989人
	99.3%			
	107.4%	108.1%		
	106.1%	106.7%	98.8%	
二次精検	631人	590人	667人	710人
	106.9%			
	94.6%	88.5%		
	88.9%	83.1%	93.9%	
人間ドック	2,700人	2,849人	2,813人	2,935人
	94.8%			
	95.9%	101.3%		
	92.0%	97.1%	95.8%	
予防接種等	2,862人	2,817人	3,680人	2,591人
	101.6%			
	77.8%	76.5%		
	110.4%	108.7%	142.0%	
コロナワクチン予防接種	12人	38人	1,651人	5,369人
	31.6%			
	0.72%	2.3%		
	0.02%	0.7%	30.8%	

年度	令和7	令和6	令和5	令和4
同期比率	6年度比			
	5年度比	5年度比		
	4年度比	4年度比	4年度比	
計	12,559人	12,690人	14,726人	17,594人
	98.9%			
	85.3%	86.2%		
	71.4%	72.1%	83.7%	

(3) 新健診システム以外の DX 化の実施状況

業務の効率化及びサービス品質の向上を目的として、定型業務である健診結果の「自動判定」作業に RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入し、自動化を推進した。その結果、夜間処理の実施が可能となり、人的負担の軽減と処理精度の向上が図られた。特に、人的負担の軽減としては、派遣職員数が年度当初の 7 人から 3 人へ削減するとともに、時間外勤務も導入前 151 時間から導入後 59 時間へと削減された。また、自動判定以外の業務においても RPA 化を進め、XML データ作成、請求集計、市町村住民マスタのチェック・登録、LG-WAN 回線を活用したデータ送信等の自動化に取り組み、業務効率の向上と運営体制の安定化を図った。

SASAWELL を活用した健診結果配信については、県下一円での展開を進め、健診後の健康管理支援の充実に努めた。現在、結果配信機能および労働基準監督署提出書類の出力機能を実装しており、導入団体は年々増加し、令和 7 年度は 52 団体(13.5%増)増加の 436 団体となった。これにより、予約連携および結果連携の効率化が進み、業務負担の軽減につながった。また、本システムについては、健康診断結果と連動した「心と身体の総合的管理ツール」として機能拡充を進めるとともに、ストレスチェックおよび就業判定機能の追加に向けた整備を行い、新たな収益源の確保に向けた基盤整備を進めた。

さらに、Microsoft 365 の活用を進めるとともに、ゼロトラストモデルに基づく高度なセキュリティ対策の導入を行った。これにより、インターネット利用環境におけるセキュリティインシデントの監視・検知体制の強化が図られ情報セキュリティの向上に寄与した。

(4) 事業および建物等のあり方に関する検討事業の実施状況

旧本館の解体および駐車場整備工事については、令和 7 年 8 月の着工以降、順調に進捗しており、令和 8 年 10 月に完了できる見通しとなっている。

県南地区センターの建て替えについては、令和 8 年 3 月までに基本設計および実施設計が完了した。令和 8 年 6 月に建設に着手し、令和 9 年 3 月竣工する計画としている。

いわき地区センターの移転計画については、移転候補地の選定および売買条件の調整が済み、理事会の承認を経て、土地取得の手続きを進めている。

須賀川市宮ノ杜用地については、売却に向け関係機関等と協議を行ったが、具体的な進展はなかった。引き続き売却先を探すこととしている。

(5) 普及啓発事業

県民の健康意識向上と健(検)診受診者数の拡大を図るため、県、福島県立医科大学、医師会、健康を守る婦人連盟等との連携を強化し、多角的な情報発信に努めた。

結核・呼吸器感染症予防週間(9月)には、県、市町村、医師会等の関係団体と連携し、ポスターやリーフレットの配布を行うとともに、県内主要施設のライトアップや地方紙への特集掲載を通じて、結核および呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を実施した。

また、全国一斉複十字シール運動においては、県内各市町村、保健所および関係機関へポ

スターや申込用紙を配布し、運動への協力依頼を行った。

がん検診受診率向上に向けた取組として、「がん検診 GO!GO!キャンペーン」を継続して展開し、がん検診の重要性について広く周知を図るとともに、受診勧奨に取り組んだ。

また、方部別健康集会を開催し、生活習慣病予防や呼吸器疾患対策等に関する講演を通じて、地域住民の健康意識の向上に寄与した。

さらに、福島県立医科大学、福島県医師会、市町村等が開催する各種健康イベントに協力し、啓発資材を活用したブース展示や説明会を実施した。併せて、第三次健康ふくしま21計画に基づき、「減塩・禁煙・脱肥満」をテーマとした普及啓発を行うとともに、乳がんセルフチェックの普及および乳がん検診の受診勧奨に取り組んだ。

また、市町村および事業所における健康講座や研修会への講師派遣を市町村向けに4回、事業所向けに16回実施し、地域住民および事業所従業員の健康意識の向上に寄与した。

このほか、上部団体の活動と連動した新聞広報の実施や、チラシ・ポスターの配布、統計資料の提出等を通じて、関係機関と連携した普及啓発活動を推進した。

(6) がん基金事業

県民のがん予防への意識向上と受診者数の増加を目的として、がん基金の運用益等を活用した普及啓発事業を実施した。

今年度は、専門家の協力のもと、肺がんおよびCOPDをテーマとした啓発動画を制作した。科学的根拠に基づき、喫煙や受動喫煙による健康影響およびがん検診の重要性について分かりやすく解説した内容とし、当協会ホームページやLINE等を通じて情報発信を行い、県民への普及啓発に活用した。

また、がん征圧月間(9月)に併せ、地方紙2紙(福島民友・福島民報)への広告掲載を行い、がんに関する正しい知識の普及およびがん検診の重要性について周知を図った。

さらに、がんに関する予防思想の普及啓発を行う団体への助成として、福島県健康を守る婦人連盟の活動に対し支援を行った。同連盟が実施する「がん検診 GO!GO!キャンペーン」や方部別健康集会等の取組を通じて、地域住民の健康意識の向上およびがん検診の受診勧奨に寄与した。

(7) 人事制度の見直しに関する事業

人材不足が深刻化する状況において、優れた人材の確保および職員の働きがいの向上を図るため、給与及び人事制度の抜本的な見直しを行い、令和8年4月から導入した。

主な見直し内容は次のとおりである。

- (1) 初任給の引き上げ及び既存職員のベースアップ
- (2) 多様な働き方に対応するための地域限定職の導入
- (3) 定年後継続雇用制度の見直し
- (4) 賞与の一律支給廃止、職責に応じたポイント制退職金制度導入、属人的手当の廃止等

(8) 保健衛生褒賞基金事業

- (1) 岩永賞
該当者なし
- (2) 楠賞
該当者なし

2. 実績内訳

令和7年度の主な実績は以下のとおり。

① 健(検)診・検査事業	令和7年度	令和6年度	増減
(1) 結核検診			
① 学校保健	16,398人	20,919人	△4521
② 地域検診	73,561人	73,855人	△294
③ 労働衛生			
◇ 直接撮影・デジタル	18,560人	17,253人	1307
④ 精密検診			
◇ 精密検診	0人	0人	0
(2) 胃がん検診			
① 地域検診	26,140人	27,039人	△899
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	19,286人	19,940人	△654
(3) 子宮がん検診			
① 子宮がん車輻検診	17,893人	19,613人	△1720
◇ 地域検診	14,805人	15,374人	△569
◇ 労働衛生	3,088人	4,239人	△1151
② 子宮がん施設検診	44,943人	47,219人	△2276
◇ 地域検診	42,968人	45,195人	△2227
◇ 労働衛生	1,975人	2,024人	△49
③ 子宮体がん施設検診	3人	5人	△2
④ 子宮がん施設精密検診			
◇ 組織診検査	546人	536人	10
◇ 細胞診検査	1,168人	1,302人	△134
(4) 肺がん検診			
① 地域検診			
◇ 肺がん検診(喀痰)	3,911人	4,336人	△425
◇ 肺がん検診(肺野部)(協会けんぽ除く)	73,561人	90,603人	△17042
② 労働衛生			
◇ 肺がん検診(喀痰)	1,384人	983人	401
◇ 肺がん検診(肺野部)	44,194人	48,004人	△3810
(5) 乳がん検診			
① 地域検診	16,991人	18,937人	△1946
② 労働衛生	3,112人	3,296人	△184
(6) 大腸がん検診			
① 地域検診	73,791人	74,220人	△429
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	33,438人	32,964人	474
(7) 特定健康診査			
① 地域検診	56,953人	60,359人	△3406
② 特定保健指導	2,156人	1,823人	333
(8) 骨粗鬆症検診			
① 地域検診	9,821人	10,819人	△998
② 労働衛生	851人	692人	159
(9) 臨床検査			
① 学校保健			
◇ 寄生虫検査	0件	856件	△856

① 健(検)診・検査事業	令和7年度	令和6年度	増減
◇ 尿検査	126,996件	126,492件	504
◇ 心電図検査	54,784件	61,045件	△6261
◇ 血液検査	19,853件	19,590件	263
◇ その他の検査	20,057件	23,617件	△3560
② 地域検診			
◇ 血液検査	133,029件	135,412件	△2383
PSA検査	24,677件	25,209件	△532
◇ 健康診査	35,299件	33,259件	2040
◇ 県民健康調査(健康診査)	3,926件	4,128件	△202
◇ その他の検査	0件	172,288件	△172288
③ 労働衛生			
◇ 心電図検査	20,171件	22,930件	△2759
◇ 眼底検査	41,455件	39,176件	2279
◇ 尿検査	3,485件	4,308件	△823
◇ 血液検査	85,586件	108,181件	△22595
◇ 健康診断	78,924件	80,845件	△1921
◇ 血圧測定	3,406件	4,251件	△845
◇ 聴力検査	11,794件	15,940件	△4146
◇ その他の検査	33,730件	90,933件	△57203
④ 特殊検診			
◇ 有機溶剤健診	2,286件	6,596件	△4310
◇ 鉛健康診断	204件	222件	△18
◇ じん肺健康診断	427件	365件	62
◇ 騒音健康診断	941件	719件	222
◇ 情報機器作業健康診断	3,052件	4,113件	△1061
◇ その他の検査	4,990件	5,031件	△41
⑤ 保菌検査	4,960件	5,706件	△746
⑥ 医療機関からの受託検査			
◇ 一般臨床検査	0件	0件	0
◇ 病理組織検査	1,527件	1,491件	36
◇ 細胞診検査	22,059件	22,887件	△828
⑦ 母子保健			
◇ 先天性代謝異常検査	8,470件	8,754件	△284
◇ 拡大スクリーニング検査	7,223件	7,527件	△304
(10) 口腔健康診査			
① 地域検診	515件	517件	△2
② 労働衛生	0件	0件	0
(11) 健康づくり事業			
① 健康づくり事業	129件	85件	44
② 総合健康管理受託事業	20件	15件	5
②総合健診センター事業	令和7年度	令和6年度	増減
(1) 健康診断	6,354件	6,396件	△42
(2) 二次精検	631件	590件	41
(3) 人間ドック	2,700件	2,849件	△149
(4) 予防接種等	2,862件	2,817件	45
(5) 予防接種(新型コロナワクチン接種)	12件	38件	△26

③ 複十字シール募金

運動期間 令和7年8月1日 ～ 令和7年12月31日

募金実績額 1,620,212円（募金目標額 2,600,000円）

3. 行政庁に対する届出のうち重要なもの

(1) 役員の選任及び選定に関する変更の届出

- ・令和7年4月14日、理事の本田あゆみ氏が辞任された。
- ・令和7年5月8日、定款第11条第1項の規定により評議員選定委員会において、遠藤幸喜氏が選任(新任)された。
- ・令和7年6月18日、定款第14条第2項の規定により、理事として、小倉紀夫氏が選任(再任)され、上榎大氏、國分亮子氏が新任された。また、監事として赤間啓太氏が再任され、評議員の大場盛子氏が辞任された。さらに、臨時理事会において、専務理事(業務執行理事)として小倉紀夫氏が再任された。
- ・令和7年8月20日、定款第11条第1項の規定により評議員選定委員会において、評議員として阿部君江氏が選任(新任)された。
- ・評議員林昭彦氏が令和8年2月2日に逝去されたことに伴い、行政庁に退任の届出を行った。
- ・令和8年3月22日、評議員の遠藤幸喜氏が辞任された。
- ・令和8年3月25日、評議員の玉川啓氏が辞任された。

(2) 定期書類の提出

- ・令和7年6月24日、定款第8条第2項の規定に基づき、令和6年度事業報告及び決算書類を提出した。
- ・令和8年3月30日、定款第7条第3項の規定に基づき、令和8年度事業計画書及び収支予算書等を提出した。

(3) その他

特になし。

4. 監査の状況

令和7年5月15日、令和6年度事業及び決算に係る監事会を開催した。

5. 各種委員会その他重要な組織活動

検診事業精度管理委員会は、各健診事業毎に計6回開催した。また、倫理委員会を3回、建物等のあり方に関する検討委員会を11回、それぞれ開催した。

名称	開催回数	主な内容
(1) 検診事業精度管理委員会	6回	10/14 肺がん検診精度管理委員会 11/5 消化器検診精度管理委員会 11/20 乳がん検診精度管理委員会 12/4 子宮がん検診精度管理委員会 12/9 循環器検診精度管理委員会 12/17 学校保健検診精度管理委員会
(2) 倫理委員会	3回	4/14 ①令和 7 年度市民健診(乳がん)精度管理研修会開催に伴う検査画像データ等の借用依頼について ②大原総合病院森谷医師からの胸部エックス線画像データの提供について 7/11 子宮頸がん検診の判定状況について～従来法と LBC 法の比較～ 1/5 症例から学ぶ MMG ポジショニングと心得
(3) 事業および建物等のあり方に関する検討委員会	11回	4/23 令和 7 年度の課題および委員会開催スケジュールについて他 5/21 総合健診センターの変圧器の PCB 分析実施について他 6/25 旧本館解体工事に伴う駐車場運用計画について他 8/22 県北地区センター別地駐車場の整備工事および案内板設置工事について 他 9/10 総合健診センターホール及び廊下冷暖房設備改修工事業務委託について 他 10/15 県南地区センター基本設計の確認について 他 10/29 県南地区センター基本設計の確認について 他 11/26 県南地区センター設計の確認について 他 12/10 令和 8 年度建物等のあり方検討に係る予算要求について 他 2/4 新しいわき地区センター建設用地の取得について 他 3/25 新県南地区センター設計(案)について

6. 理事会の決議のうち特に重要な事項の経過

特になし

7. その他理事会から報告を求められた事項

特になし